

2027年3月期 第1四半期

1Q FY2026

決算概要



2026年8月7日

日揮ホールディングス株式会社

目次

- 2027年3月期 第1四半期 実績
- 2027年3月期 予想
- 参考資料



2027年3月期 第1四半期 実績



Enhancing planetary health

ハイライト

- ◆ モザンビーク向け洋上LNGプラント建設プロジェクトを受注
- ◆ 国内外プロジェクトの着実な遂行に加え円安影響により利益は上振れ
- ◆ 機能材製造事業は販売・材料調達両面で順調

中東情勢

- ◆ 関係者の安全を最優先にサウジアラビア、イラク、UAEにおいて複数のプロジェクトを遂行中
- ◆ 最新の状況により各プロジェクトの予算を見直し

連結損益計算書

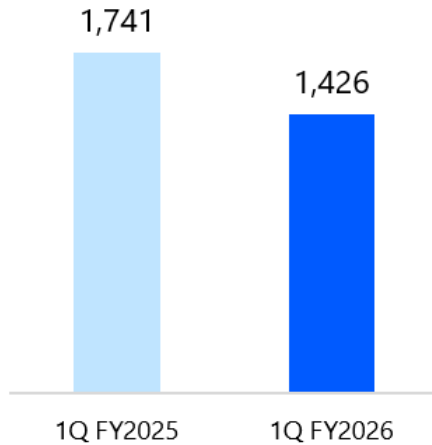
【億円】

	1Q FY2025	1Q FY2026	前年同期比	FY2026 業績予想	進捗率
売上高	1,898	1,592	△ 305	6,700	24%
売上総利益	154	203	+49	730	28%
利益率	8.1%	12.8%	+4.7pt	10.9%	
営業利益	78	123	+44	400	31%
経常利益	92	213	+121	460	46%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	56	116	+60	460	25%
1株当たり 四半期純利益	23.17円	48.03円			

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（1）

売上高

【億円】

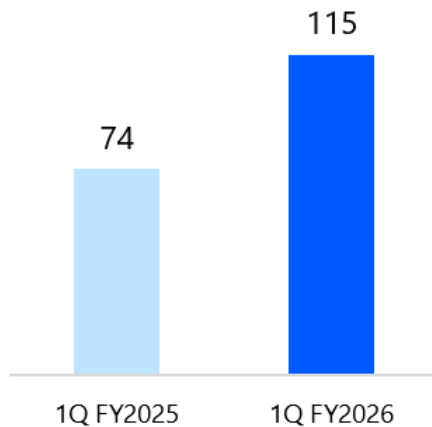


通期予想	6,060
進捗率	24%

◆複数の海外大型案件が前年度に完工または終盤を迎えたことにより減収

セグメント利益

【億円】



通期予想	414
進捗率	28%

◆円安影響等により増益

◆中東情勢影響は、各プロジェクトの最新状況で予算を見直し

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（2）

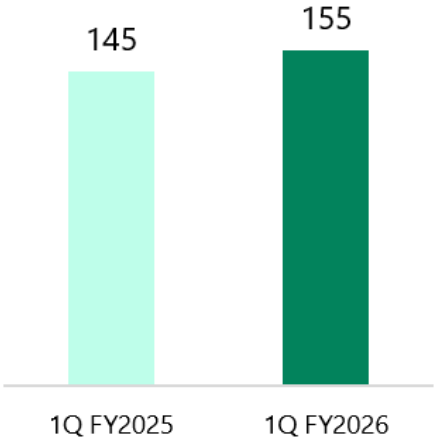
受注高			受注残高		
【億円】			【億円】		
	1Q FY2025	1Q FY2026		2026年3月末	2026年6月末
国内	294	255	国内	1,453	1,411
海外	179	889	海外	10,102	10,001
合計	474	1,145	合計	11,555	11,412

主要 受注案件	国内	海外
	・ 製油所改修	・ FLNG（モザンビーク）
受注残高 主要案件	1,000億円以上	300億円以上
	・ 大型EGR/CCUS陸上設備（インドネシア） ・ 大型低炭素LNGプラント（UAE） ・ 原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア） ・ FLNG（モザンビーク）	・ 製油所近代化（イラク） ・ 原油・ガス分離設備（サウジアラビア） ・ ニアショアFLNGプラント（マレーシア） ・ NGLプラント増強工事（サウジアラビア）

セグメント情報：機能材製造事業

売上高

【億円】

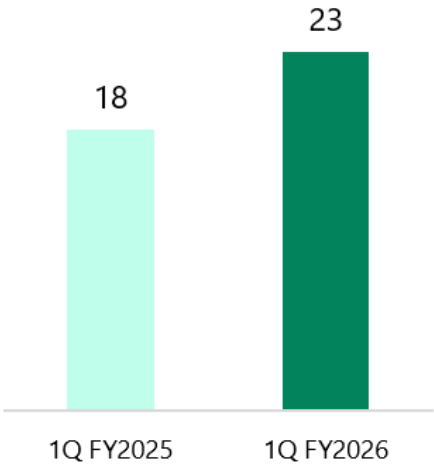


通期予想	555
進捗率	28%

◆生成AI関連およびデータセンター関連の半導体需要拡大に伴い、半導体製造装置関連製品の販売が好調

セグメント利益

【億円】



通期予想	66
進捗率	36%

◆原材料調達等への中東情勢の影響はこれまでのところ限定的

連結財政状態

【億円】

	2026年3月末	2026年6月末	増減
総資産	8,387	8,500	+112
純資産	4,311	4,270	△ 41
自己資本比率	51.2%	50.0%	△ 1.2pt
JVキャッシュ 当社持分	1,098	1,106	+8

2027年3月期 予想



Enhancing planetary health

2027年3月期の業績見通し

通期業績見通しに変更はありません。

【億円】

	FY2026 予想	1Q FY2026 実績	進捗率
受注高(※)	17,400	1,145	7%
売上高	6,700	1,592	24%
売上総利益	730	203	28%
利益率	10.9%	12.8%	
営業利益	400	123	31%
経常利益	460	213	46%
親会社株主に帰属する当期純利益	460	116	25%
1株当たり配当金	52.00円		
換算レート(米ドル)	150.00円		

(※) 総合エンジニアリング事業

【予想の前提】

- ◆ 中東情勢影響は、各プロジェクトの最近の状況に応じて予算を更新
- ◆ 円高想定により営業外為替差損が生じる
- ◆ 持分法適用関連会社売却による特別利益約200億円を第2四半期に計上

参考資料

参考（1Qの主な取り組み – 総合エンジニアリング事業）

海外 【エネルギー分野】

受注目標（1兆7,400億円）達成に向けて着実に前進。

中期経営計画の重点戦略にも着手

- エネルギーセキュリティやエネルギーアフォーダビリティの観点から、重要性を増す天然ガス・LNGの中長期的な需要は、アジアを中心に拡大していく見通し。
- モザンビーク向けFLNGプラント建設プロジェクトが正式契約に至ったほか、LNGカナダ第2期拡張計画プロジェクトのEPC先行役務などを受注。

【一般産業分野】

- 成長市場である半導体・データセンター分野において、同分野で多くの実績を持つExyte社との協業を軸に、東南アジアを中心に積極的な営業活動を展開。

国内

- SAF、医薬品、食品分野でのプラントの建設・改造や製油所改修案件の受注を目指し、営業活動に注力。製油所改修案件の一部を受注したほかメンテナンス業務などを受注。
- バイオ原薬製造棟建設プロジェクト（栃木）を完工。

<中期経営計画「BSP2030」重点戦略の取り組み>

【総合エンジニアリング事業の持続的な競争力強化】

- 中期経営計画「BSP2030」で掲げるConfiguratorの実現に向けて、英国Configuring社と自動エンジニアリングツールの共同開発を開始。ベテランエンジニアの知見をデジタル化し、設計業務の効率化や品質の安定化、競争力強化を推進。

【ソリューションビジネスの拡充】

- 神戸市にガス循環発酵の基盤設備を導入したバイオものづくり研究棟を新設。本棟ではCO₂を原料に水素酸化細菌を用いた生産プロセスの段階的なスケールアップを実施。

参考（1Qの主な取り組み – 機能材製造事業）

触媒・ファインケミカル分野

- 触媒分野は、国内外で需要が堅調。特に石油精製触媒はアジアを中心に需要が堅調。
- ファインケミカル分野は、半導体やエレクトロニクス市場が好調で、半導体研磨材やFPD反射防止材の需要が好調。化粧品材も需要は回復傾向にあり、マイクロプラスチックビーズ代替として新規需要の獲得を推進。
- 北九州および新潟県で取得した事業用地において、2026年度からインフラ整備を実施。半導体関連製品をはじめとしたファインケミカル製品の生産拡大を目指す。
- 中東情勢悪化によって、一部原材料（ナフサ由来材料）の供給懸念があったが徐々に解消へ。顧客や原料メーカーとの連携を密にし、安定調達に向けた取り組みを継続。

ファインセラミックス分野

- 半導体市場は生成AI関連を中心に引き続き好調。半導体製造装置関連製品およびデータセンター向け薄膜回路基板の需要が増加。
- EV向けパワー半導体用高熱伝導窒化ケイ素基板は、欧州でのEV向け補助金の復活あるいは上乗せによってEV需要が回復傾向にあり、製品の受注や引き合いが増加し、新工場の稼働率も上昇。一部原材料（レアアース）の調達先多様化も推進中。
- 需要拡大に合わせて、人財確保や追加設備投資を加速し、売上拡大に傾注。

参考（2027年3月期 セグメント別 業績見通し）

セグメント別通期業績見通しに変更はありません。

【億円】

		FY2026 予想	1Q FY2026 実績	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	6,060	1,426	24%
	セグメント利益	414	115	28%
	利益率	6.8%	8.1%	
機能材製造	売上高	555	155	28%
	セグメント利益	66	23	36%
	利益率	11.9%	15.3%	
その他	売上高	85	10	12%
	セグメント利益	20	2	14%
	利益率	23.5%	27.5%	
調整額	セグメント利益	△ 100	△ 18	-

参考（地域別受注高、売上高、受注残高）

【億円】

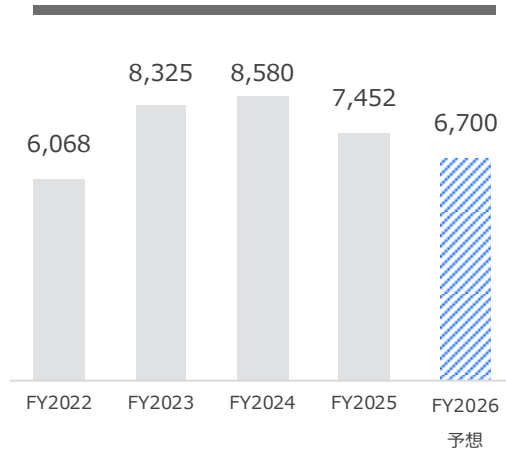
	1Q FY2026 受注高		1Q FY2026 売上高		1Q FY2026 受注残高	
日本	409 (255)	29.8% (22.3%)	403 (297)	25.3% (20.9%)	1,550 (1,411)	13.4% (12.4%)
アジア	119 (69)	8.7% (6.0%)	460 (424)	28.9% (29.7%)	4,060 (4,031)	35.0% (35.2%)
中東	21 (13)	1.6% (1.1%)	504 (496)	31.7% (34.8%)	4,743 (4,743)	41.0% (41.6%)
アフリカ	777 (777)	56.6% (67.9%)	125 (125)	7.9% (8.8%)	1,035 (1,035)	8.9% (9.1%)
米州ほか	46 (30)	3.3% (2.7%)	99 (82)	6.2% (5.8%)	196 (191)	1.7% (1.7%)
合計	1,374 (1,145)	100.0% (100.0%)	1,592 (1,426)	100.0% (100.0%)	11,586 (11,412)	100.0% (100.0%)

※ 括弧内は総合エンジニアリング事業のみの数字を表しています。

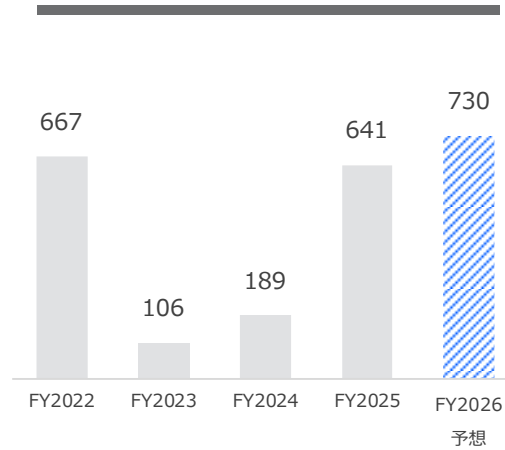
参考（業績推移）

【億円】

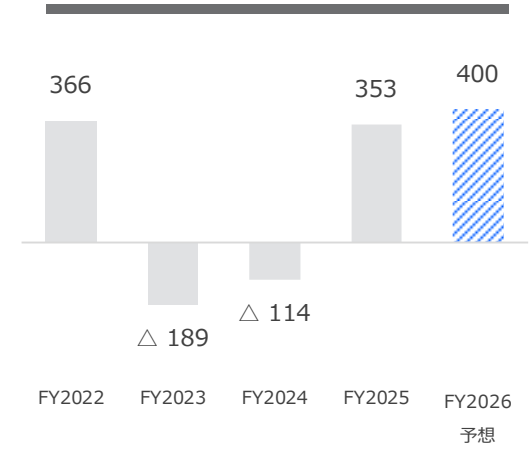
売上高



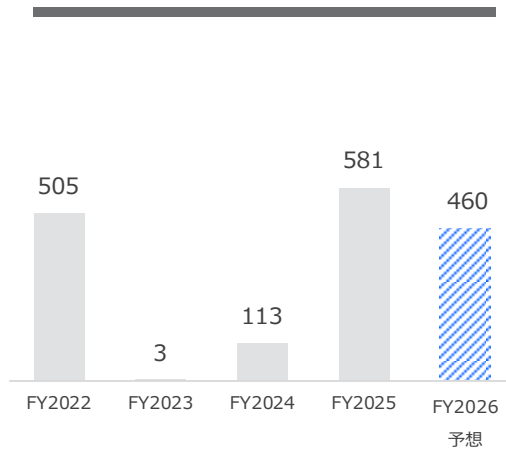
売上総利益



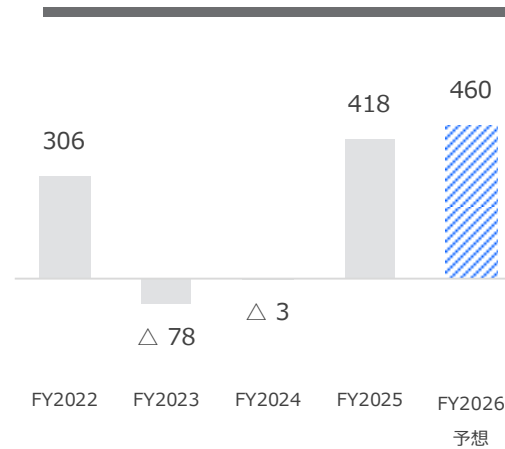
営業利益・損失



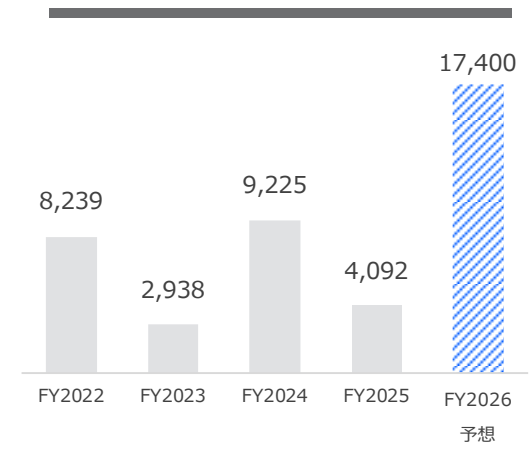
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失



受注高 (総合エンジニアリング事業)



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
ファイナンス・IRオフィス IRユニット
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com